



日本を護る会 レポート

日本の伝統・精神の次世代への継承

第 46 号(令和 5 年 3 月)

理事長挨拶 :

年が令和 5 年に改まって最初の機関誌「日本を護る会レポート 46 号」をお届けします。昨年はロシアによるウクライナ侵攻に世界が驚愕しましたが、この事態も 1 年以上が経過してやや膠着状態の様相を呈し、コロナ禍の終息の動きと共に世界は新たな局面を迎えているようです。そのような情勢の中で当会は我が国が世界平和のために果たすべき役割を考えるために、我が国本来の在るべき姿を追求しつつ、広い視野から世界情勢を判断できる事を目的として活動を続けたいと考えますので、会員の皆様には引き続き当会への御協力と御支援をお願い致します。

本年の皆様の御健康と益々の御発展をお祈り申し上げます。

理事長 大橋 武郎

第38回 研修会

令和5年初詣

日時：令和5年1月7日 場所：芝大神宮

今年の初詣は芝大神宮へ会員の皆様総勢 20 名と昇段参拝しました。芝大神宮は、伊勢神宮の御祭神、天照大御神（内宮）、豊受大神（外宮）の二柱を主祭神としてお祀りしています。御鎮座は遠く平安時代、寛弘二年（1005年）一条天皇の御代に創建された由緒あるお社です。

古くは、飯倉神明宮、芝神明宮と称され鎌倉時代においては、源頼朝公より篤い信仰の下、社地の寄贈を受け、江戸時代においては、徳川幕府の篤い保護の下に社頭にはぎわい大江戸の大産土神として関東一円の庶民信仰を集め、「関東のお伊勢さま」として数多くの人々の崇敬を戴きました。その当時の賑わいは、広重の錦絵に窺うことができます。

その後の当宮の社史をみますと、明治、大正、昭和初期の関東大震災、太平洋戦争の激動期においても、数多くの苦難にも耐えて氏子並びに崇敬者に支えられ現在の御社殿に至ります。（右図、芝大明神にて）

御鎮座壹千年

平成十七年（2005年）九月十六日に、御鎮座一千年を迎えました。今日では、この芝地域は、大江戸の下町から近代都市の形成により大東京のオフィス中心地へと変貌を遂げると共に、当宮も時代の先端を担う企業から御祈願が社頭、社外を通じて多くなりました。都心における神社として近くに行った時には是非足を運んでみてください。

今年も厳しい年になりそうですが、皆様と共に日本の良さを失わないように日々精進していく所存です。

（左図、参拝後の懇親会。中華屋にて）



第100回 定例会

演題： 「プーチンの正義」
講師： 元・航空自衛隊 空将 高橋 伸治 氏

日時： 令和5年3月18日 14時～ 於： 銀座サロン・ド・ジュリエ(Salon de Juliet)

2022年(令和4年)2月24日のロシアによるウクライナ侵攻は世界に衝撃を与えましたが、それら約1年を経過した現在に至るも未だに収束は見通せません。今回の定例会では防衛駐在官として3年間ソ連時代のモスクワで過ごし、その後もロシア情勢を研究しており、その経験から講演していただきました。



講師略歴

- 1962年(昭和37年)防衛大学校第6期生(応用物理学科)卒業. 航空自衛隊入隊、
- 1970年(昭和45年)米空軍情報学校卒業、
- 1980年(昭和55年)在モスクワ日本大使館赴任(1等書記官)
- 1996年(平成8年)航空自衛隊幹部学校長:退官
- 2002年(平成14年)警察大学(国際警察センター)講師、kai
- 2014年(平成26年)NPO法人(横浜)日本ユーラシア協会会員(ロシア語検定1級)

我が国における当戦争に関する報道は全て欧米や日本からの視点に立つものであり、ロシア側からの視点に立った戦争遂行の理由、言い分、大義名分が不明瞭。何故あのような無謀な戦争を強行しなければならないのか、その理由を考えて見たい

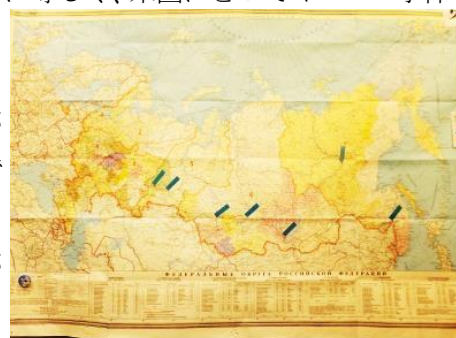
1 ロシアは 1000 年の歴史を通じ西欧とは異質の文明を築いて来た。特に周囲の民族から度重なる侵略を受け独特の安全保障観を持つに至った。その結果、特に西欧に対しては不信感、対抗意識、煮え湯を飲まされた被害者意識が強い。また、臆病かつ被害妄想的な国なので周辺の国々に対して過剰反応をし易い。従ってロシアと付き合い ough時は相手の国民性を良く見極め冷静に対応する事が必要である。



2 ウクライナとロシアは建国以来同じ文明圏で歴史を築いて来た運命共同体である。従ってウクライナの問題はロシアの国内問題であり、欧米が介入するのは重大な内政干渉であると反発している。それが、この問題を複雑にしている。

3 ウクライナと黒海地帯はロシアにとり確信的利益であり歴史的にも国家存亡がかかった戦略的要衝である従ってウクライナ問題に欧州が介入する事は、ロシアの脇腹にドスを突き付けるに等しく、米国にとってキューバ事件と同じ意味を持つ。

4 プーチンの悲願はロシアの栄光を取り戻す事とソ連邦の復活であるが現実はその正反対の方向に進んでいる。加えて、今回の戦争の結果如何では彼がロシアの歴史に名声を残せるのか、それとも汚名を刻む事になるのか?彼のプライドと存在意義がかかっている。従って何かなんでも戦果、成果を挙げなければならない。



5 欧米や日本としては、絶対にプーチンを勝利者にしてはならないが、同時に彼を完全に追い詰めると何をするか分からないリスクがある。従って、「名誉ある退路」を作ってやる事も必要である。日本が真の独立国として外交的イニシアチブをとれるのか？これは難題中の難題と言える。



質疑応答



懇親会



事務局からのお知らせ

- * 認定取得に伴い、寄付を行う個人、法人にとっての税額の控除が受けられるよう利点をわかりやすく説明した資料など寄付金募集要項を近日中に皆様にお届を予定しています。当会の発展のために、皆様のお知り合いの個人、法人の方々にも宣伝をして頂きたくぜひともご協力をお願いいたします。
- * 過去長きにわたりこの欄では事務局の受付、経理などのご協力を頂ける人を求めている旨の発信をしておりますが、残念ながら会員の皆様からの反応は皆無です。今後の会の運営を考えますと危機的な状況と言わざるを得ません。

理事会では特に経理作業をお手伝いいただける方(会員に限らず)を募集し、月額1万円程度を支給させていただくことと致しました。ご協力を頂ける場合は、下記の事務局メールアドレスにお知らせください。

<募集要件>

- 1 現金の管理と簡単な出納帳の記帳程度の、専門知識を必要としない軽作業ができること
- 2 パソコンでの簡単な Excel の知識があること
- 3 週に1～2時間程度の労働時間が確保できること
- 4 月に一度、池袋の事務所にて作業ができること（交通費は別途支給）

今後の予定

- * 4月21日(金) 第101回定例会 場所: サロンドジュリエ 18時
講師 駐日アゼルバイジャン共和国特命全権大使 ギュルセル・イスマイルザーデ閣下
演題 アゼルバイジャン共和国―独立後達成した目標―政治・経済―外交中心に―
- * 5月20日(土) 第101回定例会 場所: サロンドジュリエ 14時
講師 有村治子議員、
演題: 未定

原則、メールにてお申し込み下さい。

<年会費お支払いのお願い>

本年度の会費を未払いの方は早急にお振込みいただきたくよろしくお願ひいたします。

年会費お振り込み先

ゆうちょ銀行

店番号 038 普通預金 記号10380 番号92589171
口座名義 トクヒ) ニホンヲマモルカイ

日本を護る会・レポート 第46号 令和5年3月発行
編集発行: 認定特定非営利活動法人 日本を護る会
ホームページ: <http://awake-japan.sakura.ne.jp>
E-mail : awake-japan@googlegroups.com